《様式１》

【対象事業活動の実績に関する評価】

令和6年度　事業経営評価

団体名	（公財）大阪市救急医療事業団	所管所属名	健康局

中期目標

⑴ 当該外郭団体の事業経営を通じて達成しようとする本市の行政目的又は施策の具体的な内容

大阪府医療計画に基づき市町村の役割としてある初期救急医療体制を確保するため、市内において休日･夜間の急病診療事業を実施すること。

⑵ 中期目標期間

令和６年４月１日から令和11年３月31日

⑶ 中期目標の期間終了時において、⑴の行政目的又は施策によって実現しようとしている状態

市内における休日・夜間の急病診療事業を実施するため医師等の医療従事者の確保や後送病院との連携がなされ、休日・夜間の急病診療事業が中期目標の期間を通じて安定的かつ継続的に実施できている状態。

当該事業年度の評価

外郭団体の自己評価

当該事業年度の指標及び目標に基づく評価を踏まえた団体の総合的な評価

・今年度は、一定以上の勤続年数の看護師が安定的に雇用され診療の補助を担うことができ、医師の負担軽減に繋がった。
・また、一定水準の後送病院数を確保することにより、入院及び手術が必要な患者に対する救急診療の実施体制を確保した。
・以上の結果により、年度を通じて、休日・夜間の急病診療事業が安定的かつ継続的に実施できたものと考える。

最終目標達成見込み	最終目標達成に向けた課題及び課題解消に向けた次年度以降の取組について
ア ア：順調 イ：遅れあり ウ：計画の見直し必要	最終目標達成のためには、以下の取り組みをしっかりと進めることが必要である。 医療従事者の確保については、感染予防対策を徹底するとともに、各種研修の充実に努める。 また、後送病院の確保については、患者診療実態調査票の回収促進、看護師や出務医師への聞き取りを継続し、医療機関に関する情報収集を行うことなどにより、後送病院数を維持できるよう努める。

市の評価

当該事業年度の指標及び目標に基づく評価並びに当該評価を踏まえた本市の総合的な評価

初期救急医療に求められる医療従事者の確保と適正な後送病院の安定的な確保に向けた取組が進められた。その結果、年度計画に掲げたすべての目標が達成できており、休日・夜間の初期救急医療体制が確保でき、市民に対し急病診療が継続して提供できたことは評価できる。次年度以降も目標達成が継続できるよう、引き続きの取組を期待したい。

助言等及び講ずるよう求める措置の内容【大阪市外郭団体等への関与及び監理事項等に関する条例第７条第５項】（※必要な場合のみ）

対象事業活動の実績に関する評価(事業活動に関する事項)

取組－1　（※分野ごとの評価）

中期計画

団体が**中期計画期間中**に行政目標達成に向けて取り組む具体的な内容

【医師等の医療従事者の確保】
（ア）看護師に対する採用時研修の実施
（イ）看護師に対するスキルアップ研修の実施
（ウ）看護師に対する感染予防研修の実施
（エ）勤続3年以上の看護師の割合を6割以上とする

年度計画達成状況

【計画】団体が**当該事業年度**に取り組む具体的な内容	【実績】団体が**当該事業年度**に取り組んだ具体的な内容
（ア）看護師に対する採用時研修の実施 ・休日・急病診療所特有の業務に携わるにあたっての知識や技術の習得を目的として、全ての新規採用者に対して経験やスキルに応じた研修を個別に実施する。 ・指導看護師の意見を取り入れ、研修マニュアルや指導内容の更なる充実を図る。 ・受講者アンケートにより受講者の満足度を確認し、改善に努める。 （イ）看護師に対するスキルアップ研修の実施 ・知識や技術の習得を目的として、初期救急医療業務を中心に医療全般に関するテーマの研修を中堅看護師等を対象に１回実施する。 ・受講者アンケートにより受講者の満足度を確認し、改善に努める。 （ウ）看護師に対する感染予防研修の実施 ・感染症の予防知識習得を目的に、中堅看護師等を対象に1回実施する。 ・昨年は、感染症予防や受講者の参加のしやすさの観点から集合研修よりDVD研修が適切であると考え実施したところ、勤務時間内に参加可能なDVD研修を希望する意見が多かったため、今年もDVD研修を検討する。 ・受講者アンケートにより受講者の満足度を確認し、改善に努める。 （エ）勤続3年以上の看護師の割合を6割以上とする ・感染予防対策を徹底するとともに、上記（ア）～（ウ）の研修を通じて業務への不安を取り除き、良好な職場環境維持に努める。	（ア）看護師に対する採用時研修の実施 ・4月1日から12月31日までの全ての新規採用者（6名）に対して、経験やスキルに応じた研修を個別に実施した。 ・指導看護師の意見を取り入れ、接遇や医療安全など研修マニュアルや指導内容の充実を図った。 ・受講者アンケートにより全受講者から満足、概ね満足であるとの回答を得た。 （イ）看護師に対するスキルアップ研修の実施 ・web研修と自己演習の併用により「AEDの使い方とトラブルシューティング」をテーマに実施し、全看護師が参加できた(受講対象者数89名）。 ・受講者アンケートにより全受講者から満足であるとの回答を得た。 （ウ）看護師に対する感染予防研修の実施 ・DVD研修よりも参加しやすいweb研修や抄読会で「感染予防の基本　標準予防策と感染経路別予防策について」「重症熱性血小板減少症候群」をテーマに実施し、全看護師が参加できた。 ・受講者アンケートにより全受講者から満足であるとの回答を得た。 （エ）勤続3年以上の看護師の割合を6割以上とする ・COVID-19などの感染予防対策を徹底するとともに、上記（ア）～（ウ）の研修を通じて教育の充実と業務への不安を取り除き、良好な職場環境維持に努めた。 ・勤続3年以上の看護師の割合は6割以上（74%）となった。

指標Ⅰ　（ア）採用時研修における受講者満足度

	R6	R7	R8	R9	R10【最終】	
目標値	80%	80%	80%	80%	80%	
実績値	100%					

当該事業年度の目標達成状況	a（i）	《達成状況》 a：目標達成：　（ⅰ)取組は予定どおり実施　（ⅱ)取組を予定どおり実施しなかった b：目標未達成：(ⅰ)取組は予定どおり実施　（ⅱ)取組を予定どおり実施しなかった

指標Ⅱ　（イ）スキルアップ研修の受講者満足度

	R6	R7	R8	R9	R10【最終】	
目標値	80%	80%	80%	80%	80%	
実績値	100%					

当該事業年度の目標達成状況	a（i）	《達成状況》 a：目標達成：　（ⅰ)取組は予定どおり実施　（ⅱ)取組を予定どおり実施しなかった b：目標未達成：(ⅰ)取組は予定どおり実施　（ⅱ)取組を予定どおり実施しなかった

指標Ⅲ　（ウ）感染予防研修の実施回数

	R6	R7	R8	R9	R10【最終】	
目標値	1回	1回	1回	1回	1回	
実績値	2回					

当該事業年度の目標達成状況	a（i）	《達成状況》 a：目標達成：　（ⅰ)取組は予定どおり実施　（ⅱ)取組を予定どおり実施しなかった b：目標未達成：(ⅰ)取組は予定どおり実施　（ⅱ)取組を予定どおり実施しなかった

指標Ⅳ　（エ）勤続3年以上の看護師の割合

	R6	R7	R8	R9	R10【最終】	
目標値	60%	60%	60%	60%	60%	
実績値	74%					

当該事業年度の目標達成状況	a（i）	《達成状況》 a：目標達成：　（ⅰ)取組は予定どおり実施　（ⅱ)取組を予定どおり実施しなかった b：目標未達成：(ⅰ)取組は予定どおり実施　（ⅱ)取組を予定どおり実施しなかった

外郭団体の自己評価			
	中期計画に対する進捗状況【当該事業年度】	ア	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」
	当該事業年度の達成状況について		
	・採用時研修やスキルアップ研修の受講者満足度については、全受講者から満足したとの回答を得て、目標を達成することができた。 ・感染予防研修についても、期間中2回実施することができた。 ・勤続3年以上の看護師の割合については、全看護師90名中67名（74%）を確保することができた。		
	最終目標(中期計画)達成に向けた課題及び課題解消に向けた次年度以降の取組について		
	・採用時研修やスキルアップ研修の受講者満足度については、参加者のうち80%以上が目標であるが、令和6年同様に100%の満足度をめざし、更なる研修内容の充実に努める。 ・感染予防研修についても、令和7年も対象者が参加しやすいwebを利用した実施を検討する。 ・勤続3年以上の看護師の確保についても、各種研修の実施や職場環境の改善に努め、現状を維持できるように努める。		

市の審査						
	中期計画に対する進捗状況【当該事業年度】	ア	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」	「様式1：中期目標⑶」に対する取組の有効性	A	A：有効であり、継続して推進 B：有効でないため、取組を見直す
	「外郭団体の自己評価」に対する審査結果					
	採用時研修、スキルアップ研修、感染予防研修にかかる受講者アンケート結果を確認したところ、全受講者が満足であると回答しており、研修に係る取組は順調に進捗した。また、勤続３年以上の看護師の割合も目標を上回っていることから、外郭団体の自己評価は妥当である。					
	「**中期目標**」達成の視点からみた審査結果					
	採用時研修、スキルアップ研修、感染予防研修を計画どおり実施し、受講者からも高い満足度を得ている。これらの研修に加え、新型コロナウイルスを含む感染症への対策を徹底するなど、看護師が安心して勤務できる環境を整えている。これらの取組が前中期計画期間から引き続き、勤続３年以上の看護師の高い割合(60%以上)の達成に繋がっており、安定した医療従事者の確保ができていることは評価できる。					

対象事業活動の実績に関する評価(事業活動に関する事項)

取組－２　（※分野ごとの評価）

中期計画

団体が**中期計画期間中**に行政目標達成に向けて取り組む具体的な内容

【後送病院との連携】
（ア）後送病院に送付した患者診療実態調査票の回収
（イ）患者診療実態調査票に記載された意見等への対応
（ウ）中期目標期間を通じて、現状と同水準の病院数(現状：33）の確保

年度計画達成状況

【計画】団体が**当該事業年度**に取り組む具体的な内容	【実績】団体が**当該事業年度**に取り組んだ具体的な内容
（ア）後送病院に送付した患者診療実態調査票の回収 ・患者を受け入れた後送病院に対して、調査票を送付し、後送した患者の実態把握を行うとともに、意見や要望があれば調査票に記載してもらうことで問題点や課題の把握・解消に努める。 ・患者を受け入れた全ての後送病院に対して調査票(令和6年4月1日から11月分）の回収を行い、回収率95%を目標に取り組む。 ・調査票の提出が遅い病院に対して電話にて返送を促す。 （イ）患者診療実態調査票に記載された意見等への対応 ・後送病院からの意見に対しては、対応の方向性や対応結果、考え方等について返答を行うとともに、必要に応じて出務医師へのフィードバックを行い、対応率100%を目標に取組む。 （ウ）中期目標期間を通じて、現状と同水準の病院数(現状：33）の確保 ・現状の後送病院が辞退しないよう継続のメリットなどを直接説明するほか、人員確保が困難となっているなど各病院の事情を考慮した当番回数の調整を行うなどして、後送病院の辞退を防ぐとともに、新規病院に働きかけを行うなど、随時、必要な調整を行い、現状と同水準の病院数（現状：33）を確保する。	（ア）後送病院に送付した患者診療実態調査票の回収 ・4月1日から11月30日までに患者を受け入れた後送病院に対して調査票（718件）を送付し、意見や要望等があれば調査票への記載をお願いした。 ・上記のうち、12月現在での回収数は 685件(約95%）であるが、未回収の調査票（残りの33件）についても電話にて返送を促しており、1月中に回収できる見込みである。 （イ）患者診療実態調査票に記載された意見等への対応 ・4月1日から11月30日までに患者を受け入れた後送病院に対して調査票（718件）を送付し、意見や要望等があれば調査票への記載をお願いした。 ・回収済みの調査票に記載された意見等は18件であり、そのうち対応が必要な1件については、後送時の連絡に対する意見であり、すぐに対応し、改善内容を返答した。その他17件については、患者のその後の経過などの情報共有であったため、事業団内部や出務医師に情報共有した。 （ウ）中期目標期間を通じて、現状と同水準の病院数(現状：33）の確保 ・現状、医師の働き方改革などの課題もある中、後送病院が辞退しないよう継続のメリットなどを直接説明するほか、各病院の事情を考慮した当番回数の調整を行うことにより、結果として現状と同水準の病院数33を確保することができた。

指標Ⅴ　（ア）患者診療実態調査票の回収率

	R6	R7	R8	R9	R10【最終】	
目標値	95%	95%	95%	95%	95%	
実績値	95%					

当該事業年度の目標達成状況　a（i）
《達成状況》
a：目標達成：　（ｉ）取組は予定どおり実施　（ii）取組を予定どおり実施しなかった
b：目標未達成：（ｉ）取組は予定どおり実施　（ii）取組を予定どおり実施しなかった

指標Ⅵ　（イ）意見に対する対応率

	R6	R7	R8	R9	R10【最終】	
目標値	100%	100%	100%	100%	100%	
実績値	100%					

当該事業年度の目標達成状況　a（i）
《達成状況》
a：目標達成：　（ｉ）取組は予定どおり実施　（ii）取組を予定どおり実施しなかった
b：目標未達成：（ｉ）取組は予定どおり実施　（ii）取組を予定どおり実施しなかった

指標Ⅶ　（ウ）後送病院数の維持(現状：33）

	R6	R7	R8	R9	R10【最終】	
目標値	33	33	33	33	33	
実績値	33					

当該事業年度の目標達成状況　a（i）
《達成状況》
a：目標達成：　（ｉ）取組は予定どおり実施　（ii）取組を予定どおり実施しなかった
b：目標未達成：（ｉ）取組は予定どおり実施　（ii）取組を予定どおり実施しなかった

外郭団体の自己評価

中期計画に対する進捗状況【当該事業年度】	ア	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」

当該事業年度の達成状況について

・後送病院に送付した患者診察実態調査票については、一部未回収であるが、685件(約95%）を回収し、目標を達成することができた。
・意見等については18件であったが、対応が必要な1件についてはすぐに対応し、その他17件については対応は不要であった。その内容は事業団内部や出務医師に情報共有した。
・継続のメリットなどを直接説明するほか、各病院の事情を考慮した当番回数の調整を行うことにより、現状の後送病院はすべて継続することができたため、結果として現状と同水準の病院数である33病院を確保できた。

最終目標(中期計画)達成に向けた課題及び課題解消に向けた次年度以降の取組について

・患者診療実態調査票は、685件（約95%）を回収し目標を達成することができた。次年度以降においても、調査票提出の遅い病院に対して電話にて返送を促すといった取組を継続することで、引き続き95%の目標達成をめざす。
・意見に対する対応については、引き続き100%の目標達成をめざす。
・後送病院数の確保については、引き続き既存の後送病院との連携を密にし、要望や意見を取り入れることにより、継続しやすい環境を作り、現状と同水準の病院数を維持していくこととする。
・一方で人員確保が困難な状況など後送を引き受ける病院側の事情による救急受入体制の限界や医師の働き方改革に伴い当直医の確保が一層困難になっている現状のもと、新規に手を挙げる医療機関を確保することが非常に難しい状況ではあるが、少しでも可能性のある医療機関に対しては、参入条件やメリット・デメリットを直接説明する等後送病院に対する理解を深めてもらい、必要に応じて後送病院として参入できるよう準備を進めてもらうことで、後送病院を辞退する医療機関が出てきたとしても後送病院数を維持できるように努めていく。

市の審査

中期計画に対する進捗状況【当該事業年度】	ア	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」	「様式1：中期目標(3)」に対する取組の有効性	A	A：有効であり、継続して推進 B：有効でないため、取組を見直す

「外郭団体の自己評価」に対する審査結果

すべての指標について目標が達成できており、外郭団体の自己評価は妥当である。引き続き、残りの患者診療実態調査票の回収に努めるとともに後送病院の安定的な確保に向けた取組みを進め、次年度以降もすべての指標の目標達成が継続できるよう取り組まれたい。

「**中期目標**」達成の視点からみた審査結果

後送病院の安定的な確保は、初期救急医療体制を確保するために非常に重要な取組である。既存の後送病院との連携を密にしながら、現状の後送病院はすべて継続することができたことは評価できる。引き続き、後送病院数については現状維持できるよう取組を継続し、中期目標の達成に向け確実な取組を期待したい。